

後輩たちにエール

～横浜ベイスターズ 細山田武史選手と鹿島アントラーズ 大迫勇也選手来校～

1月12日（水）、卒業生で横浜ベイスターズの細山田武史選手と鹿島アントラーズの大迫勇也選手が来校し、後輩たちに向けて高校時代の話や、自分の目標や夢に向かって一生懸命頑張ることの大切さなどを話してくださいました。講話の最後には、野球部とサッカー部の主将から花束が贈呈され、ファッションデザイン科の生徒から手作りのクッションが、そして普通科パティシエコースの生徒からケーキのプレゼントがありました。生徒たちは、「先輩方は私たちの誇り、自分の目標や夢に向けて頑張りたい」と感想を述べていました。



記念撮影の様子



ファッションデザイン科の生徒は、手作りのクッションをプレゼントしました。



普通科パティシエコースの生徒たちは、ケーキをプレゼントしました。



横浜ベイスターズ
細山田 武史 選手
(平成17年卒業・

早稲田大学卒業・大口中出身)

私は、高校在学中は文武両道を目指し学校生活を送っていました。その中で仲間を得たことが今でも大きな財産になっています。高校卒業後は早稲田大学に進学し、念願のプロ野球に入団しました。プロになって1年目は試合に出る機会もありましたが、しかし2年目の昨年は試合に出場することができず、苦しい思いをしました。1軍に入ることの難しさ、結果を残すことの大切さを痛感しました。自分の弱さを認められる人が本当に強い人だと思います。今後も自分と向き合いながら、周囲に恩返しできるように頑張りたいです。

今年は1軍に定着し、活躍する姿をみなさんにお見せできるように頑張りたいと思います。ぜひ、横浜スタジアムへ足を運んでいただき、応援をよろしくお願いいたします。



鹿島アントラーズ
大迫 勇也 選手
(平成21年卒業・

鹿児島育英館中出身)

私の高校時代は、サッカーばかりの毎日でした。高校サッカー選手権では悔しい思いをしましたが、その悔しさがバネになり現在のプロ生活につながっています。1年目は出場機会も多く、それなりに結果も出せたと思うのですが、昨年は試合に出ることができずに苦しい時もありました。しかし、腐らずに努力し続けたことで天皇杯ではレギュラーで出場することができ、優勝することができました。苦しいときにどれだけ前を向けるかが大事だと思います。

今年は、昨年逃したJリーグでの優勝とアジアチャンピオンズリーグ、天皇杯と全てのタイトルが獲得できるよう、チームに貢献していきたいです。また、日本代表としてロンドンオリンピックに出場することが目標です。これからも応援よろしくお願いいたします。